

(図中の褒め言葉)

東西 へ 上るりな かなば 立かへり 御見物様方の

おじやまもかへり 三ツ五郎 ころへて ぬられず

江戸ツ子の わかての 仕人^{して}が たほめ 升ウ

イヨひいきの 浜^{はま} へ ヤしやまおやまの

きつすいたち

路考^{ろかう} どうとも

ことばにはいふに

岩井^{いはゐ}のおふ

たりさん

またと

嵐^{あらし}の

目徳^{めとく}さん

イヨ有がたい

と申ます 切

つゞいての 御評判

唐^{から}日本橋 ひとつくるめ

よし原品川 根津四ッ谷 まだ明^{あけ}やらぬ

浅草から内外神田さそひつれうへを下谷と

土間棧敷向ふ嶋までいつぱいに人の山の手大入は

嘘じやごんせぬ本所のあねさんこちまで似顔のうちわ

見とれて思ひ深川とゆふべもこそつて芝口ノ八百八町で名取のかた



ことばで飯倉にはほめつくさねどいつまでむだをいふやつじや

ほんに麻布で気がしれぬとおしかりつけぬその内にホノ敬白